

平成14年7月30日



## 平成14年6月 マンスリー レポート

集計企業数 40 社

## 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	23,360,960 万円	100.0%	106.9%(104.0%)	22,189,933 万円	103.0%(100.3%)
食 料 品	17,607,947 万円	75.4%(75.5%)	109.0%(105.9%)	16,597,137 万円	104.1%(101.5%)
農 産	2,700,057 万円	11.6%(11.2%)	111.7%(105.8%)	2,549,818 万円	106.7%(101.5%)
水 産	2,153,385 万円	9.2%( 9.6%)	105.9%(104.4%)	2,036,675 万円	101.1%(100.0%)
畜 産	1,982,278 万円	8.5%( 8.7%)	105.0%(102.1%)	1,872,001 万円	100.2%( 98.7%)
惣 菜	1,660,153 万円	7.1%( 7.4%)	109.7%(104.3%)	1,570,118 万円	104.6%(103.6%)
日配食品	4,011,306 万円	17.2%(17.1%)	110.0%(104.5%)	3,741,564 万円	104.5%(102.4%)
加工食品	5,100,767 万円	21.8%(21.6%)	109.7%(105.0%)	4,828,987 万円	105.2%(101.7%)
生活関連	2,369,892 万円	10.1%( 9.9%)	100.0%( 98.1%)	2,299,485 万円	98.5%( 96.1%)
衣 料 品	1,876,837 万円	8.0%( 7.8%)	100.2%( 99.8%)	1,845,583 万円	100.6%( 96.2%)
そ の 他	1,506,285 万円	6.4%( 6.8%)	103.3%(100.6%)	1,447,728 万円	100.8%( 99.1%)

## 数 値

全店総売上高	23,360,960.2 万円	店 舗 数	1,767 店舗
総売場面積	3,816,075.8 m <sup>2</sup>	総従業員数	109,686 人

店舗平均月商	13,220.7 万円	平均客単価	2,060.9 円
月間m <sup>2</sup> 売上(前月)	6.1 万円( 6.0 万円)	平均店舗面積	2,159.6 m <sup>2</sup>
月間坪売上(前月)	20.2 万円(19.8 万円)	パート比率(前月)	72.5%( 72.4%)

注) 総従業員数...パート・アルバイト数は、8時間換算しています

## 全体概況

昨年に比べ日曜が1日増。週末の天候にも比較的恵まれ、売上は好調に推移  
全体の売上が伸びているが、その要因は「客数増加」によるものであり、客単価は  
依然下落傾向にある

ワールドカップによる影響と考えられるが、夕食時における高在宅率が消費に好  
影響をもたらした

食品衛生法で認められていない添加物が使用されていた問題は、広範囲のメーカ  
ーに直接使用の原材料および原材料への2次的使用の有無について、全商品に調  
査確認をするという大変な作業と費用をもたらした。販売者として、商品の安全  
確認や使用商品の撤去、返品作業に追われる日々が続いた

## 商品動向

### 農産

農産では相場が戻り、全体的単価を押し上げた

中国産野菜が敬遠されたことも、単価を押し上げた要因であったように思われる  
春から晴天が続き、「メロン」が例年よりも早い出荷となり好調

「梅」も出荷のピークが早まり、販売時期が大きくずれた。6月の売上が大幅減  
例年国内果物が並び売れ始める時期にもかかわらず、TV放送の影響から「キウイ  
フルーツ」が爆発的に売れた。400%も伸びた店舗増もあり、改めてTVの影響  
に感心させられた

### 水産

水産では、気温の上昇とともに「うなぎの蒲焼」が堅調になる

「うなぎ」について、抗生物質残留問題等で中国産の売れ行きに陰りが見えた。安  
全・安心？といわれる国内産の売れ行きが好調

「かつお」は相変わらず不漁。高値かつ品質が今ひとつ。「生かつおたたき」など、  
安定的な販売できず不調

### 畜産

畜産では、気温の上昇とともに「焼肉需要」が増している。売上として、「BSE」  
の影響も次第に薄まりつつある

## 惣菜

惣菜ではワールドカップ開催をうけ、開催日には「寿司」「ピザ」「おつまみ」等が爆発的に動いた

気温の上昇とともに「冷やし中華」「冷やしうどん」等、涼味商品の動向が好調

寿司では、生ネタにぎり寿司から「いなり」「巻き寿司」にシフト傾向がみられる

## 日配・加工食品

日配食品では、気温の上昇とともに「牛乳」の需要が増加。暑さから原乳の品薄もあり、商品調達に苦労した

健康ブーム・TV放送もあり、「ヨーグルト」は依然好調。大幅に昨比を続伸している

加工食品では「乾麺」「麺つゆ」等、夏物商材が本格的に動き始めた

カップラーメンの「ご当地シリーズ」が堅調に推移。根強い人気を保っている

気温上昇とともに、下旬より飲料が堅調。特に「緑茶」は昨年同様、好調に動いている

菓子では香料問題から、売れ筋を定番から引き上げた商品も多く、売上に大きな影響を与えた

## 住居関連用品

住居関連用品ではワールドカップの録画特需のため、ビデオテープの売上が好調  
ヘルス&ビューティ分野でのドラッグストアとの競合が激化。厳しい状態が継続

## その他

残留農薬等の問題を受け、輸入品、特に中国産に対しての消費者の買い離れ目立った

産地や品質表示に対して、お客様の関心が増してきている

～「ワールドカップ」の影響

日本戦15時キックオフの日の昼(13時頃)の売上が、異常値を示す売上を記録。しかし一時的なものであり、試合開始後は逆に来店客数が激減

試合が行われている時間帯の来店客数が激減。また試合後の来店も鈍った。1日におけるピークタイムが、明らかに変わった

日本戦20時30分キックオフの日については在宅率が上がったためか、平年より売上は大幅増。オードブルや酒類などを中心によく動いた

～「父の日」の動向

「似顔絵」の募集を行った。例年そうであるが、母の日の反響より家族での来店が増えるという点では、「父の日」の反響の方が大きい

2,000円以上お買上げの方へ「ビールくじ」を開催。新しい販促手段として行ったが好評であった

刺身・寿司にミニ発泡酒を入れた「おとうさんセット」を販売。好評を得た

～「発泡酒」値下げの影響

この夏期については、値下げの話題で需要は大幅に伸びると思われる

「ビール」の売上が大幅に落ち込んでいる

「増税不安」「ビールの売上低下」等に加え、今まで好調であったチューハイ等リキユール類の売上減にも影響し、酒類全体の売上・利益を減少させる要因

～「無認可添加物」「残留農薬」に対するお客様の反応

事件・問題が相次ぎ、メーカーの対応も迅速になっている。マスコミ発表や報道も早くなり、店舗にはお客様からの問い合わせも不思議とない（ワールドカップ期間中だったからか？）

お客様の購買行動を見ると、商品表示や賞味期間・日付を見たりしており、表示に対して過敏になっている。表示に対して不信を持っていることが伺われる

中国産の全ての商品に対して、不信感を持っているように感じられる